

## ✧ 海外ニュース ✧

スペイン 2024年10月31日 Ministerio

### ■ スペイン政府、高速道路 AP-66 の重車両通行料金引き下げ率を 60% 以上にするための資金調達案を了承

El Gobierno autoriza la financiación para elevar al 60% las rebajas de los peajes de la AP-66 a los vehículos pesados

スペイン政府は、通行料金の引き下げを実施するために、支出面で大幅に折り合いをつけるための合意に了承した。通行料金の引き下げ率を増やすための勅令を出すために合意を得る最終手続きをとる。支払形態に関係なく、重車両のすべてがこの新しい引き下げ案の恩恵にあずかることとなる。高速道路 AP66 は、カンポマネス（アストゥリアス州）とラ・マグダレナ（レオン県）をつなぐ道路で、現在 40% 引き下げられた通行料金をさらに 60% 引き下げる法案が検討されている。

英国 2024年11月1日 Highwaysindustry.com

### ■ 英国道路へ 13 億ポンドの衝撃：同セクターへの道路計画中止影響を分析する

The £1.3 Billion Blow to UK Highways : Examining the Impact of Road Project Cancellations on the Sector

大きな政策転換の中、財務大臣レイチェル・リーヴスは National Highways による 5 つの重要な道路計画の中止を発表した。この動きは注目される他の計画中断（A27 アランデルバイパス、A303 ストーンヘンジトンネル等）に続くもので、道路開発から鉄道・代替インフラ投資優先への実質的転換を示すものである。大臣の戦略は、従来の道路開発より鉄道および持続可能性を支持するという顕著な焦点の変化を表している。このアプローチは環境優先に協調するものである一方、道路セクターにより厳しい予算枠組みで革新を行うよう新たに圧力をかけるものである。

米国 2024年11月1日 traffic technology today

### ■ ブリンシー社が安全性と保守性を高めるため州間幹線道路のマップを出版

Blynscy publishes map of US interstate highways to enhance safety and maintenance

AI に基づく交通運輸洞察の提供事業者であるブリンシー社は、道路の安全・保守状況を支援するガードレール、速度制限標識、作業区間といった道路資産を示した、州間幹線道路の包括的公共マップを出版した。データは各州の運輸省機関が利用可能であり、特に自然災害時において劣化した危険な道路の安全性、保守、補修に効果的かつ費用対効果よく対処できるようになる。マップは 100 万台超の車両からのクラウドソースダッシュカメラ画像を利用するが、これは AI 画像解析ツールと連動し、準リアルタイムで 40 以上の道路状況や資産インベントリー問題を検知できる。

米国 2024年11月5日 Roads&Bridges

### ■ 米国運輸省が革新的道路技術に対する 760 万ドルの助成金を発表

USDOT Announces \$7.6 Million in Grants for Innovative Highway Technology

米国運輸省の連邦道路管理局は、建設を促進するための新たな基準や建設における技術を推進すべく、760 万ドルの助成金を拠出した。この革新的な助成金は、全国の 8 つの州で 9 つのプロジェクトに与えられた。助成金は、がれき撤去、作業区間の安全性向上、緊急要員を支援する技術の統合、インフラ点検を行うドローンの使用、橋梁設計の改善、より持続可能な材料の開発といったイノベーションに資金を提供する。早期イノベーション実証計画は超党派インフラ法の資金提供を受け、政府イノベーションのリスクを回避し、建設、計画実行において新技術を使用するためのリソースを提供する。

ドイツ 2024年11月6日 BMDV

### ■ ドイツ充電インフラ全国網整備で初の高速道路沿い高速充電パークがオープン

Erster Deutschlandnetz-Schnellladepark an der Autobahn eröffnet

連邦デジタル・交通省（BMDV）が推進中の EV 用高出力充電インフラの全国ネットワーク、いわゆる

「Deutschlandnetz」整備計画の一環として、このほど北部シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州の A21 号線沿いパーキングエリア Depenauer Moor に初の高速充電パークがオープンした。近辺にはこれまで充電施設がなかった。2026 年までに同様の高速道路沿い充電パークが 200 カ所建設される。「Deutschlandnetz」整備計画では、このように未だ充電設備のない地域、都市や高速沿い無人 PA を中心に合計 9,000 の高速充電ポイントを新設する予定となっている。建設と運営は BMDV の委託を受けた民間業者が行う。2026 年に整備が完了すれば、EV は全国どこを走っていてもすばやく最寄りの充電ステーションに行き、高速充電ができるようになる。

スペイン 2024 年 11 月 7 日 Abertis

### ■ アベルティス社、テキサス州高速道路 SH-288 の州営化の影響を受け、収益を 70% 減らす

Interstate Bridge Officials Discuss Tolling Options Abertis recorta un 70% su beneficio por el 3 del rescate de la autopista SH-288 de Texas

アベルティス社は、今年初めから 9 カ月の間に 1 億 8,800 万ユーロの総利益を獲得したが、昨年同時期と比べ 70% の減少であった。これはテキサス州が高速道路を州営化したことが影響したものと見られる。アベルティス社が増やした収益 9% は 45 億 8,500 万ユーロ、Ebitda の 10% 増加は 32 億 2,900 万ユーロに相当する。なお、アベルティス社の全株のうち ACS 社は 30%、ホッホティーフ社は 20% を保有している。

米国 2024 年 11 月 12 日 HIGHWAYS TODAY

### ■ 夜間道路工事に対する法律・安全面の考察

Legal and Safety Considerations for Nighttime Highway Construction

夜間道路工事では、高速で走行する車両のすぐ横で暗闇のなか作業せざるをえない作業員に対し、特有の問題が生じる。低下した視認性や疲労により危険な環境がもたらされ、1 つの過失が重大な結果につながりうる。夜間道路工事は決して容易な任務ではなく、厳密な計画、安全への揺るぎない配慮、現場の全作業員の保護への対応が求められる。照明の設置、視認性の高い用具、疲労管理といった要素が安全な作業環境を生み出す上で重要な役割を果たし、リスクが最小化される。このような要素に投資することで建設会社は規制基準を満たし、自社チームの福利を優先する安全文化を醸成できる。

ドイツ 2024 年 11 月 12 日 Autobahn GmbH

### ■ アウトバーン GmbH、冬期路面管理用に初の電動トラクターを導入

Autobahn GmbH setzt erstmals vollelektrischen Lkw im Winterdienst ein

アウトバーン GmbH は、このほどドイツ西部エルデの道路維持管理事務所で、冬期路面管理業務用に初めて EV トラクターを採用した。高速道路で路面凍結防止用のブライン液散布に使用するもので、セミトレーラーを連結してブライン液入りのタンクを搭載する。電気のみで動くトラクターの導入により、CO<sub>2</sub> の排出を削減、騒音を低減する。さらに、充電 1 回あたりの走行可能距離が長く牽引能力も大きいこの最新型トラクターは、従来の業務車両による散布 2 往復分を一度で完了できるため、作業効率が大幅に向上する。持続可能性を追求するアウトバーン GmbH では、路面、さらに周辺の自然環境を保護するため、従来使われてきた塩ではなく負担の少ないブライン液の散布を推進している。

フランス 2024 年 11 月 12 日 Le Figaro

### ■ 高速道路の修理費用がさらに高騰予定

Nouvelle hausse des prix du dépannage sur autoroute

通常の高速道路および緊急用電話装置を備えた高速道路では、自動車修理工が駆けつける場合の修理請負額が 2024 年 12 月 1 日から 3% 近くも上昇する。これはインフレ上昇率から計算される料金の高騰を上回る数値である。車の運転手にとってさらによくない知らせとして、各種高速道路における車両の修理と牽引作業には、今後 144.52 ユーロの費用がかかることになる。これはインフレ率が 2.2% 前後なのに対して、2.87% の上昇となる。

米国 2024年11月13日 Roads&Bridges

### ■ バージニア州が電気自動車充電ステーションへの補助金を発表

Virginia Announces Funding for Electric Vehicle Charging Stations

バージニア州の交通局は、州間高速道路・幹線道路沿いに電気自動車充電ステーションを建てるための連邦政府補助金を受け取る次回受領者を発表した。補助金の合計は異なる35カ所の充電器に対し約2,200万ドルとなる。これは超党派インフラ投資雇用法の一部である国家電気自動車インフラプログラムからきている。新ステーションは急速充電となり、次の充電器から80km以内に位置する州間高速道路・幹線道路沿いの連邦政府に指定された「代替燃料コリドー」内に建てられる。3月に同交通局は州間高速道路沿いの18カ所に対する約1,100万ドルの初期授与を発表していた。

オーストリア 2024年11月14日 ITS International

### ■ カプシュ社が通行料と交通管理をEUタクソミーの一部とすることを支持

Kapsch backs tolls & traffic management to be part of EU taxonomy

カプシュ・トラフィックコム社は、持続可能な投資のため道路通行料徴収と交通管理をEUタクソミーに統合するよう欧州連合に促している。同社が提示した白書によると、これは欧州グリーンディールにおけるネットゼロ脱炭素化を達成するのに必要となる。EUタクソミーにより、経済活動が環境的に持続可能とみなせる妥当な定義が企業、投資家、政策立案者にもたらされる。ウィーンで同社が述べたところによると、高度交通管理システムにより約6,400万リットルの燃料消費の削減につながり、毎年680万ユーロに値する15万トン超のCO<sub>2</sub>排出を防ぐことができる。

英国 2024年11月15日 Highwaysindustry.com

### ■ 道路がよりスマートに：インテリジェント/適応型/サステナブル道路網の未来

Smarter Highways : The Future of Intelligent, Adaptive, and Sustainable Road Networks

道路が静的道路を越え、必要性や環境にリアルタイムで適応する動的インテリジェント道路網に進化する未来を想像してみよう。この展望は遠い将来のものではなく現在展開中である。最先端の技術、AI、サステナブル設計が結集し輸送インフラを再規定している。一部例を挙げると、AI駆動スマートレーン割り当てにより解決法が提案され、固定レーンの代わりにスマートロードが車種、交通量、気象条件に基づき動的に調整できる。また、英国が2050年のネットゼロに向かって進む中、太陽光発電道路は絶好の機会を提供してくれる。

フィリピン 2024年11月18日 World Highways

### ■ フィリピンへ28億米ドルの高速道路

US\$2.8 billion expressway for the Philippines

フィリピンへ約28億米ドルの新たな37.5km高速道路プロジェクトが計画されている。このプロジェクトの大部分の資金提供はアジア開発銀行からの借入金17億ドルでなされている。韓国輸出入銀行からの借入金9億400万ドルが道路の北側区間に支払われる。さらにアジアインフラ投資銀行からの借入金1億8,800万ドルがプロジェクトの残りの部分に支払われる。ラグナ湖岸道路接続事業により、フィリピン最大の湖であるラグナ湖沿いを走る新ルートが提供されると期待されている。この新ルートは気候変動に強い設計がなされ、大半で各方向2車線であるが、最も交通量が多いと予想される12kmの区間では各方向3車線となる。

米国 2024年11月18日 FHWA

### ■ 国の道路高官が事故対応要員安全週間で、国の道路上の緊急要員の安全性について呼びかけ

Nation's Top Highway Official Calls for Safety of Emergency Responders on Our Nation's Roads During Crash Responder Safety Week

米国運輸省、連邦道路管理局の局長代理クリスティン・ホワイトは、事故対応要員安全週道を記念し、コネチカット州および全国の対応要員、安全推進者、運輸指導者らと会合した。この週間は、自身を危険にさらし他者を助ける緊急要員（法執行、消防、緊急医療サービス、けん引および回収、運輸、公共事業等）のために、国の道路上の安全性向上を呼びかけるものである。同週間は11月18～22日で、対応要員を保護し、市民に緊急隊

員のいる道路脇事故付近を運転する際の注意責任を再認識させるための取組みである。今年のテーマは「前方に対応要員！速度を落として前進」である。

ドイツ 2024年11月25日 BMDV

### ■ プロジェクト「ScenarioEye」—単眼交通監視カメラの映像から4Dシナリオを再現—自動運転車両の検証に活用

4D Szenarien aus monokularen Verkehrskameras für das Testen und Validieren automatisierter Fahrzeuge — ScenarioEye

自動運転車両の公道走行実現のためには、特に危険な交通状況での安全性を証明する必要がある。このほど完了した共同プロジェクト「ScenarioEye」では、交通シナリオを高精度4D（3次元プラス時間軸）で再現し、自動運転機能の検証等に活用する信号処理プロセスの開発が行われた。具体的には、①静的状況を再現する、②カメラを校正する、③映像からすべての動体を抽出する、ためのアルゴリズムを作成することである。ドイツの高速道路で撮影した映像を用いて実証に成功した。これらのアルゴリズムはスケーラブルで、世界中どの交通監視カメラにも搭載が可能である。今回のプロジェクトの成功によって、自動運転車両のテスト、開発と検証のためのデータ収集に新しい可能性が開かれた。

イタリア 2024年11月26日 Il Fatto Quotidiano.it

### ■ 新しい道路交通法において、予防措置は少なく設定され、加重事由は多く認められる：その内容は一步後退したといえる

Nuovo Codice della strada, poca prevenzione e tante aggravanti ammesse : perché così si arretra

イタリアでは人口1,000人当たり681台の自動車所有されているが、飲酒運転、携帯電話のながら運転、動物をつながないで車両に載せる場合、制限速度を超える運転等に関する法令改革は、確かに有効であると判断される。制限速度違反の罰金については、時速10kmを超えるたびに173ユーロから694ユーロに引き上げられる。この規則は制限速度を時速40km超えないことを前提としている。この他、アルコールや大麻吸引中の運転に対する罰則は確かに効果があるが、これらの事故は全体の6%に満たないとされていて重要度は低い。

米国 2024年11月26日 ITS International

### ■ オクラホマ州有料道路が現金不要に

Oklahoma turnpikes go cashless

オクラホマ州の12の有料道路すべてで、現在、通行料徴収が現金不要となっている。転換過程の過去7年間では約6,000万ドルの費用を要した。利用者はPikePassやPlatePayを通して支払いを行うことになる。これによりドライバーは現金レーンを通り、後ほどオンラインで支払うことができる（進み続けるよう警告する標識がある）。完全電子化料金徴収への移行の要因は安全性である。オクラホマ州有料道路局によると、2021年までの6年間で500件以上の衝突事故が料金所で生じた。PlatePayカメラにより車のナンバープレートが撮影され、当局が登録オーナーに請求書を送ることが可能となる。

フランス 2024年11月29日 Le Figaro

### ■ 高速道路：道路利用料金は2025年に平均0.92%引き上げられる

Autoroutes : les péages augmenteront de 0,92% en moyenne en 2025

2023年に4.75%、2024年に3%だった高速道路通行料金の引き上げ率が、2025年には0.92%のみの増加となった。2023年と2024年の通行料金の引き上げは、インフレの影響を受けている。それに比べて2025年の引き上げ率はかなり低く、2021年以降最低にとどまった。これはフランス交通担当大臣によると、フランス人の生活費において、交通移動にかかるコストがいかに大きいかを考慮して、個人の購買力の維持に努めた結果とされている。